

OITA SOFTBALL DREAM PROJECT

大分県ソフトボール協会
技術委員会・強化委員会・指導者委員会・普及委員会

PROJECTの結論

～具体的な対策に取り組めば～

- ①小・中学生チームの選手・チームの増加につながる。
- ② 技術力、競技力の向上、強化につながる。
- ③指導者の育成・資質向上ならびに有効活用につながる。

長期的な検証が必要
時代の流れも察知

ソフトボールをする子どもたちが増えれば

関わる大人も増える。

ソフトボールの魅力が増し、普及、強化、指導者育成などにつながる。

大分県の
ソフトボールが発展

大分県ソフトボール協会 基本方針

- ①このプロジェクトを将来に向けた最重要事業と位置付ける。
- ② 県協会は、持てる力の全てを結集し、関係者（チーム、指導者、選手、保護者）の理解と協力を得て、短・中・長期的に継続実施する。
- ③ 推進に当たっては、現状の枠組みを可能な限り維持することに努め、今後生じる個々の問題に対しては、協会内部及び関係者間で十分な協議を重ね事業目的達成を目指す。

▶ 目的

- ① 小・中学生チームの選手・チームの増加につなげる
- ② 技術力、競技力の向上、強化につなげる
- ③ 指導者の有効活用ならびに育成・資質向上につなげる

各委員会が持っているノウハウや強みを集結し、連携する

課題を明確にし、具体的な対策を考え、実践する

大分県のソフトボールの発展につなげる

▶ 達成目標

- ① 少年団・中体連チーム（選手）の減少に歯止めをかけ、小中学生チーム（選手）を増加させる。
- ② 県内の公認指導員を有効活用し、積極的に講習会に派遣し指導、資質の向上を図る。
- ③ 2028年までに都道府県対抗大会（中学生）、国体（少年男女・成年男女）で入賞する。
- ④ 2028年までに日本代表選手（男女問わない）を輩出する。
(U14/U16/U19/TOP)

実態（小学生男女別）

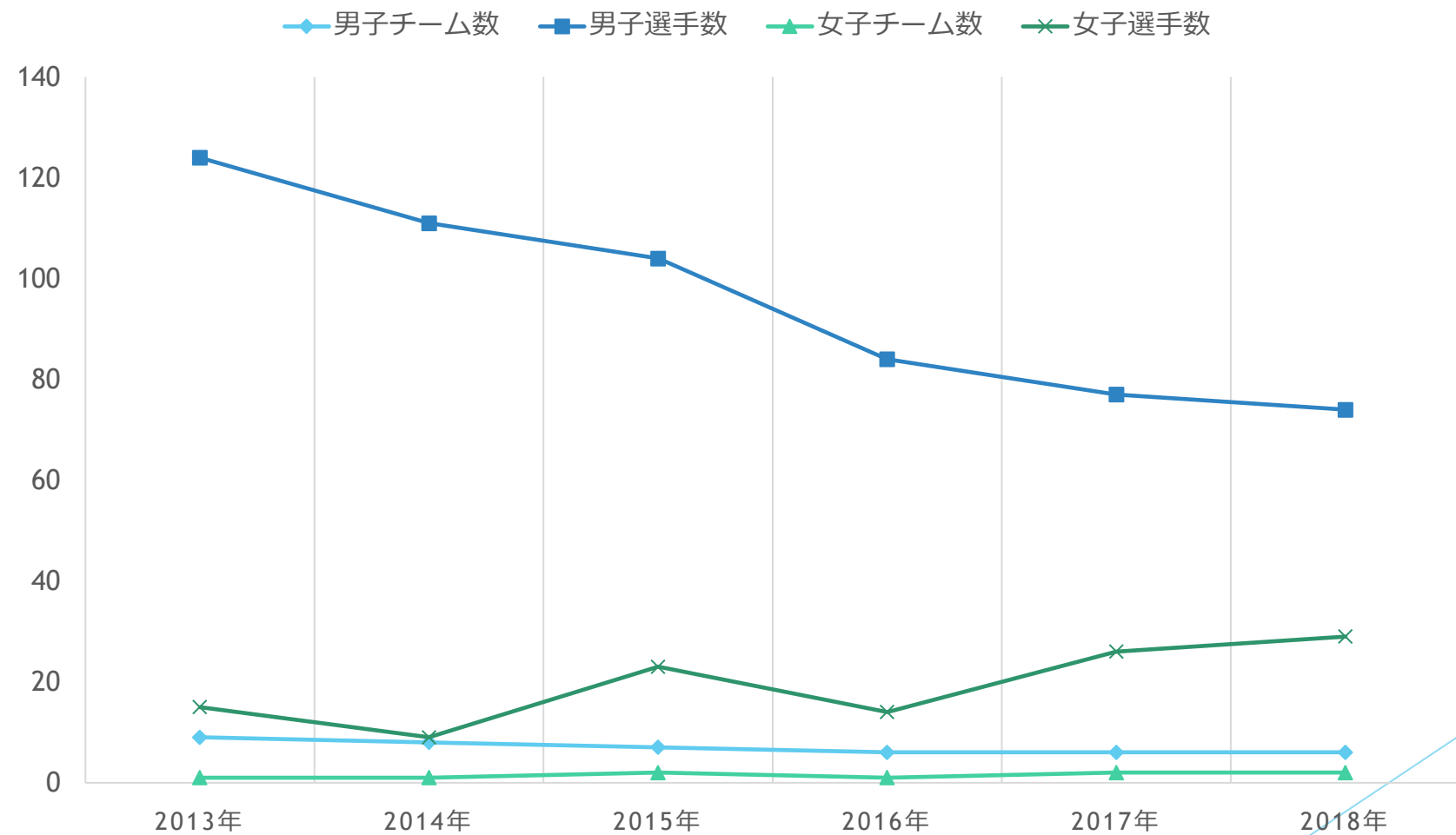
		2013	2014	2015	2016	2017	2018	6年間増減
男子	チーム数	9	8	7	6	6	6	-3
	選手数	124	111	104	84	77	74	-50
女子	チーム数	1	1	2	1	2	2	+1
	選手数	15	9	23	14	26	29	+14

県協会登録 各年度6月現在

- ・小学生男子は6年間で3チーム、50名減少している。
- ・小学生女子は6年間で1チーム、14名増加している。

- ・小学生男子は減少傾向が見られ、今後も状況が厳しくなると考えられる。
- ・小学生女子は1～2チームで推移し増加傾向が見られるが、1チーム平均14名であり決して多い方ではない。

小学生 男女別



実態（中学生男女別）

		2013	2014	2015	2016	2017	2018	6年間増減
男子	チーム数（中学校）	1	1	1	1	1	1	0
	選手数（中学校）	16	16	14	13	15	8	-8
女子	チーム数（中学校）	25	26	19	23	21	20	-5
	選手数（中学校）	389	376	262	302	295	284	-105
	チーム数（クラブ）	0	0	0	0	1	1	+1
	選手数（クラブ）	0	0	0	0	7	15	+15

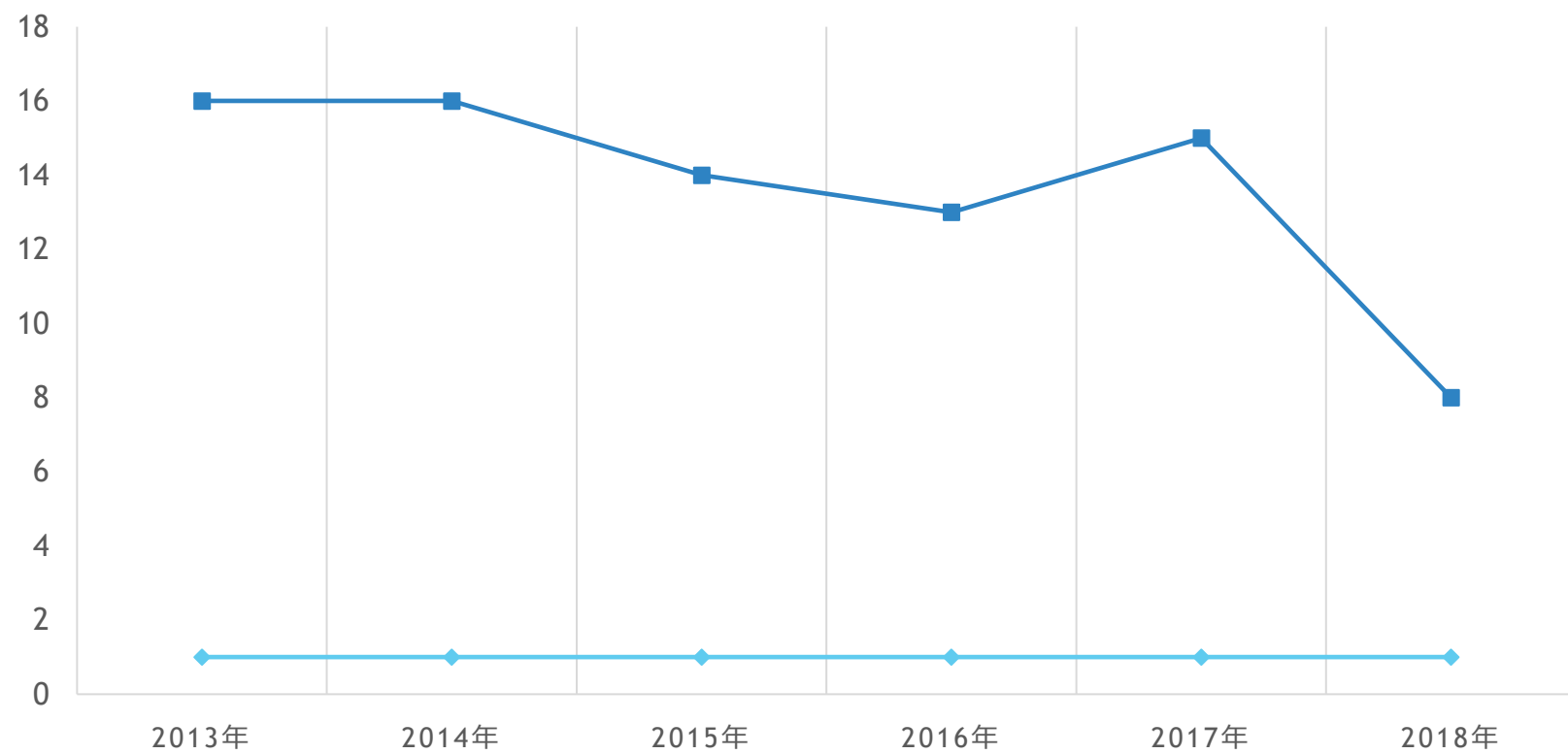
県協会登録 各年度6月現在

- ・中学校男子は17年間1チームのみ。現在、新チームは2年生1名、1年生0名で休部状態。
- ・中学校女子は6年間で105名、5チーム減少している。しかし、2017年に津久見ジュニア（中学生クラブ）が創部され、1チーム、15名増加している。

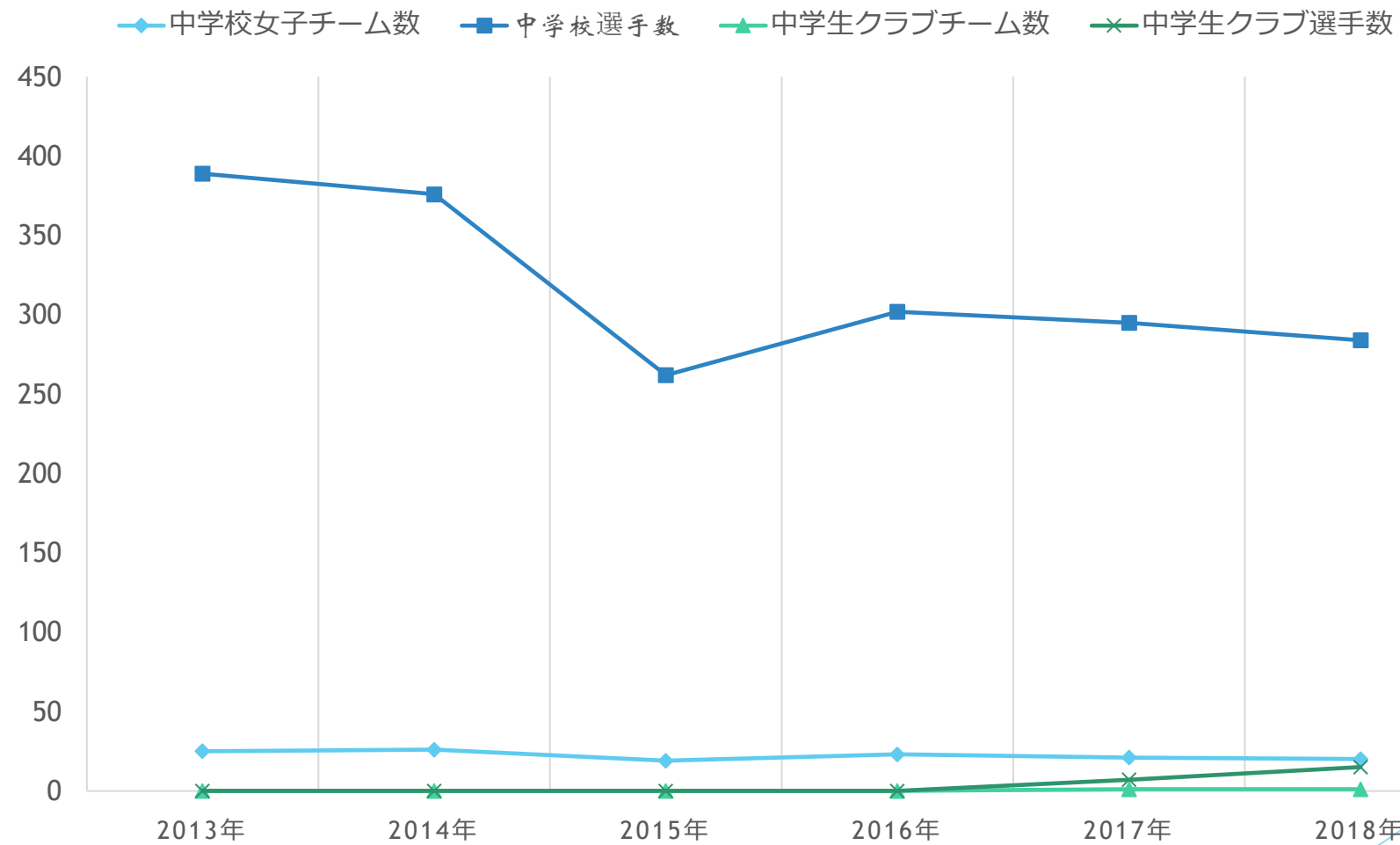
- ・中学校男子は2018年新チームより休部状態。存続も厳しい状態である。
- ・中学校女子は毎年約1チーム約10名減少している。減少傾向が続くことが予想され、状況はますます厳しくなることが考えられる。小学生女子との関係を見ると、小学生女子は増加だが、中学校女子は減少という反比例した状況である。少子化で全体の生徒数も減っているが、**未経験者の入部が減少しているため、部員不足になっているのが推測できる。未経験者が入部しない原因を探る必要がある。**

中学校男子

—◆— 男子チーム数 —■— 男子選手数



中学校女子 中学生女子クラブ



実態（高校男女別）

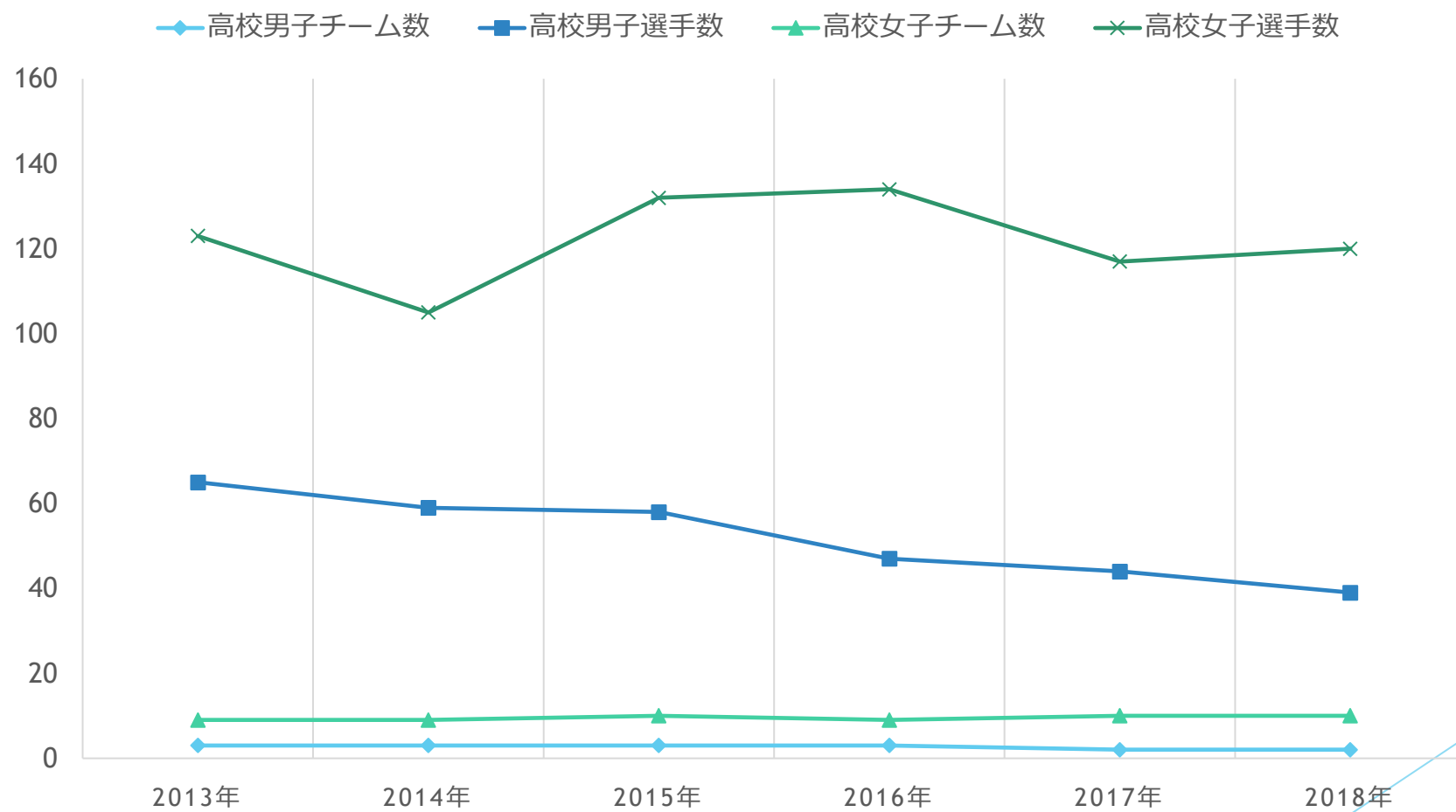
		2013	2014	2015	2016	2017	2018	6年間増減
男子	チーム数	3	3	3	3	2	2	-1
	選手数	65	59	58	47	44	39	-26
女子	チーム数	9	9	10	9	10	10	+1
	選手数	123	105	132	134	117	120	-3

県協会登録 各年度6月現在

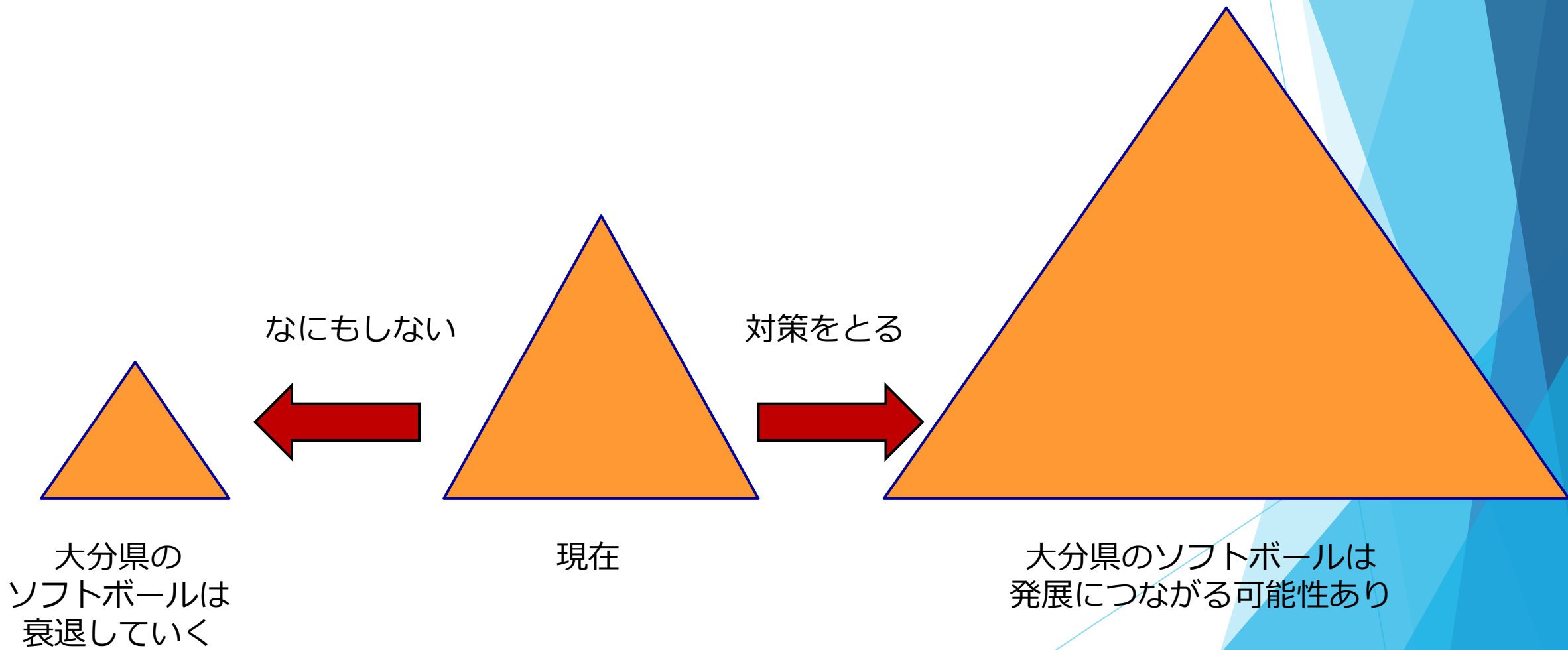
- ・ 高校男子は6年間で1チーム、26名減少している。
- ・ 高校女子は6年間で1チーム増加、3名減少している。

- ・ 高校男子は緩やかに減少しているが、中学校男子が休部に突入すれば、経験者の入部が見込めなくなる。中学校野球部からの転向者と県外から選手を入れないと立ち行かなくなることが予想される。
- ・ 高校女子は9～10チームで推移している。選手数もほぼ横ばいである。県外や野球から入部している選手もいるので状況は把握しにくいですが、中学生女子が減っている中でチームが増え、野球女子が減っていったときには、いずれ立ち行かなくなることが予想される。

高校男女



目指す姿



大分県のソフトボールを担う大切な土台とは



子どもたち である

小中学生の子どもたちの チーム数、選手数の 維持・増加がこれからの鍵

増やさないと立ち行かなくなることは間違いない

ターゲットは未就学児・小学生・中学生

**未就学児・小学生・中学生と
そこに関わる全ての人へのアプローチが必要**

課題（未就学児）

全く接点がない

課題（小学生にかかわること）

- ・ 少子化。
- ・ 他競技への選択肢が増えた。
- ・ ソフトボールの魅力を伝えられていない。
- ・ 小学校の先生方にソフトボール授業を積極的にしてもらえていない。
- ・ 発達段階に応じた技術指導の提案ができていない。
- ・ 児童勧誘のサポートができていない。
- ・ 活動場所の選択肢が減少している。バットの使用禁止施設など、公園でのキャッチボールさえもできない場所が増えている。
- ・ 個人用具の準備など、経済的な負担がかかるイメージがある（他競技に比べ）兄弟が少なくなり道具のおさがりが少なくなった。
- ・ 団員（部員）が減少している。

課題（中学生にかかわること）

- ・ 少子化。
- ・ 他競技への選択肢が増えた。
- ・ ソフトボールの魅力を伝えられていない。
- ・ 専門的に指導できる顧問（先生）の不足。
- ・ 中学校チームは減ることはあっても創部することは難しい。（働き方改革／時代に逆行）
- ・ ソフトボールをしたいが中学校にソフトボール部がない。（他競技に転向／もうしない）
- ・ 初心者の入部が少ない。
- ・ 中、高の具体的な連携が図れていない。
- ・ 高校でソフトボールを続けていきたいが、引退後に練習ができない。
- ・ 県内の指導者を有効活用したい。（部活動指導員、外部コーチ）
- ・ 選手、保護者に選択肢が少ない。

具体的な対策

- ①小中学生ソフトボールチームのサポート
- ②ジュニア練習会の実施
- ③強化指定選手練習会のサポート
- ④小中学生ソフトボールチームの研修合宿を実施
- ⑤中学3年生のチーム引退後から高校入学までの練習会実施

小・中学生チームサポート

【課題から】

- ・ 未就学児にソフトボールの体験をさせたい
- ・ 小学校でもっとソフトボールの授業をしてほしい
- ・ ソフトボールの魅力を伝えたい
- ・ 魅力のあるチームを作りたい
- ・ 未経験者の入部を増やしたい
- ・ 指導者を有効活用したい
- ・ 中学校にソフトボール部がなくてもプレーしたい
- ・ 指導者が変わらない環境でプレーしたい
- ・ 専門的な指導を受けたい

【効果】

- ・ 未経験者が入部すれば競技人口が増える
- ・ 中学校に部がない生徒が入部できるチームがあれば競技人口が増える
- ・ 指導者の有効活用が図れる
- ・ 初めて顧問になった先生方の負担を減らすことができる

【短・中・長期】

- ・ 校区体験会の支援
- ・ 未就学児体験会
- ・ 授業研究会
- ※種まき活動

【既存・新規チーム】

- ・ 校区体験会の支援
- ・ 部がない生徒の支援
- ・ 指導者の有効活用
- ・ 安定した指導体制の構築
- ※眠っている指導者の活用

小学生・中学生 チームサポート

【練習サポート】

- ・ 相談窓口の設置
- ※練習メニューの提案など
- ・ 大学や企業、クラブとの連携
- ・ 研修合宿
- ・ ジュニア練習会

The background image shows a softball field on a sunny day. In the center, a group of young women in white softball uniforms with orange accents and the word "Athena" on the front are standing in a line. To their right, another group of players in white uniforms with blue accents is visible. In the foreground, the backs of several spectators are visible as they watch the event. The field is surrounded by a chain-link fence, and beyond that, there are residential houses and utility poles under a clear blue sky.

OITA SOFTBALL DREAM PROJECT

小・中学生チームサポート【既存・新規チーム】

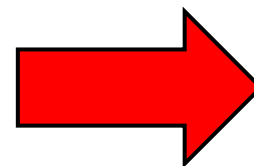
明野中校区体験会

2018/12/24

ジュニア練習会

【課題から】

- ・ 専門的な指導を受けたい、学びたい
- ・ ソフトボールの魅力を伝えたい
- ・ 技術を向上させたい
- ・ 指導方法を学びたい



ジュニア練習会

【効果】

- ・ 様々な練習方法を提供できる
- ・ 技術力向上が望める
- ・ ソフトボールの魅力を伝えられるチャンスがある
- ・ 地元企業や大学、クラブチームとの連携が図れる
- ・ 各地区の指導者の育成につながる

【関連】

- ・ 優秀指導者招聘
- ・ 指導者義務研修
など



OITA SOFTBALL DREAM PROJECT

小・中学生チームサポート

ジュニア練習会

2018/11/ 4 竹田市

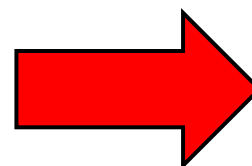
2018/12/23 津久見市

2019/ 1/27 大分市

強化指定選手練習会 サポート

【課題から】

- ・指導者を有効活用したい
- ・小学生と中学生と高校生の連携を図りたい
- ・専門的な指導を受けたい（選手）



選抜チーム強化練習会 サポート

【効果】

- ・中学選抜と高校選抜で交流すれば目標や憧れができる
- ・小学選抜と中学選抜で交流すれば目標や憧れができる
- ・小学選抜、中学選抜、高校選抜の3世代交流で目指す団結力や目標、意識が高まる
- ・技術力、競技力の向上、強化につながる
- ・指導者同士の連携が密になる

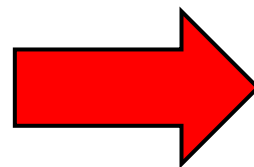
【関連】

- ・強化練習会
- ・強化合宿
- ・強化遠征
など

小中学生研修合宿の実施

【課題】

- ・小学生と中学生の連携を図りたい
- ・小学生と中学生の交流を図りたい
- ・専門的な指導を受けたい（選手）
- ・専門的な指導の仕方を教わりたい（指導者）



小・中学生 研修合宿

【効果】

- ・小中学生が交流し、入学後、チームに入りやすくなる
- ・指導方法を学べる
- ・競技力向上につながる
- ・指導者に教える場の提供ができる（資質向上）
- ・指導者同士のつながりができる

【関連】

- ・優秀指導者招聘
- ・指導者育成



OITA SOFTBALL DREAM PROJECT

小・中学生チームサポート【練習サポート】

夏期研修合宿

2018/8/17-8/19 由布市湯布院町

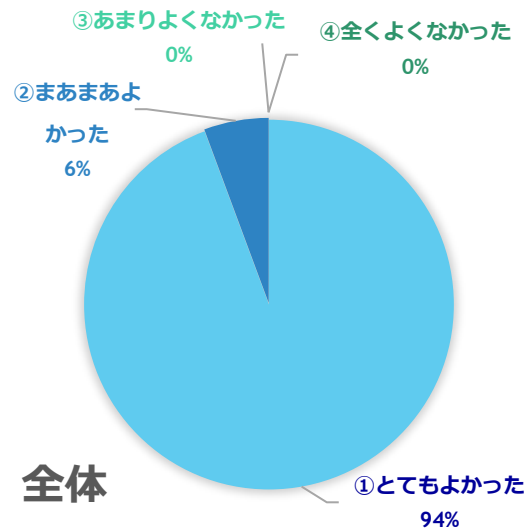
2018 年 大分県ソフトボール協会主催 夏季研修合宿（湯布院合宿）

日程

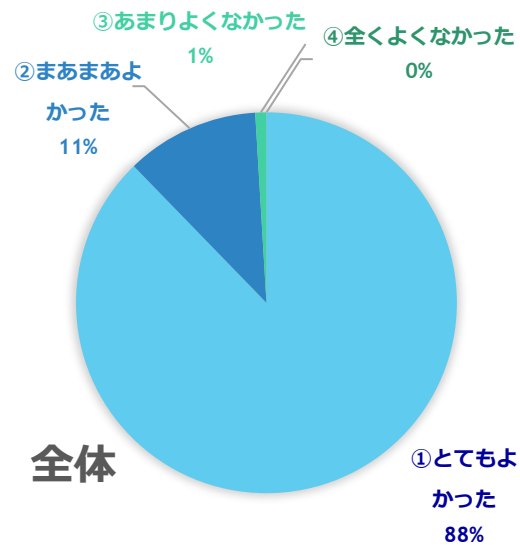
8 月 17 日（金）		8 月 18 日（土）		8 月 19 日（日）	
10:00-10:30	開講式	6 : 00	起床	6 : 00	起床
10:45-11:15	研修① 「スポーツを通して学ぶこと」	7 : 00-7 : 45	朝食	7 : 00-7 : 45	朝食
11:20-12:00	研修② 「トレーニングの目的」	8 : 15-8 : 45	自分たちで考える 「ウォーミングアップ」	8 : 45-11 : 30	練習試合
12:00-12:45	昼食	8 : 45-9 : 45	基本技術④ 「フライ捕球・外野守備」	12 : 00-12 : 45	昼食
13:00-13:30	自分たちで考える 「ウォーミングアップ」	9 : 45-10 : 45	基本技術⑤ 「投手・野手分割練習」	13 : 00-13 : 30	閉講式
13:30-14:30	基本技術① 「キャッチボール」	11 : 00-12 : 00	研修⑤ 「戦術・戦略」①		
14:30-15:30	基本技術② 「ゴロ捕球」	12 : 00-12 : 45	昼食		
15:30-16:20	基本技術③ 「投手練習」 ～みんな投手になろう～	13 : 00-13 : 45	研修⑥ 「戦術・戦略」②		
19:00-19:45	研修③ 「栄養と運動」	14 : 00-15 : 00	基本技術⑥ 「ケース練習（守備）」①		
20:00-20:45	研修④ 「ソフトボールのルール」 「日本代表選手への道」	15 : 00-16 : 00	基本技術⑦ 「ケース練習（守備）」②		
21:30	就寝	19 : 00-19 : 45	研修⑦ 「チームの目標設定」① SWOT 分析		
		20 : 00-20 : 45	研修⑧ 「チームの目標設定」② SWOT 分析		
		21 : 30	就寝		

夏期研修合宿 生徒（選手）アンケート結果 一部抜粋

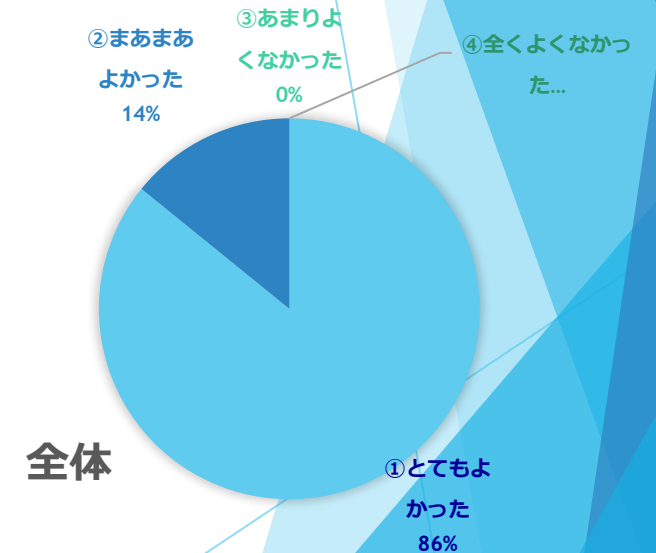
湯布院合宿に参加してどうでしたか。



実技講習はどうでしたか。

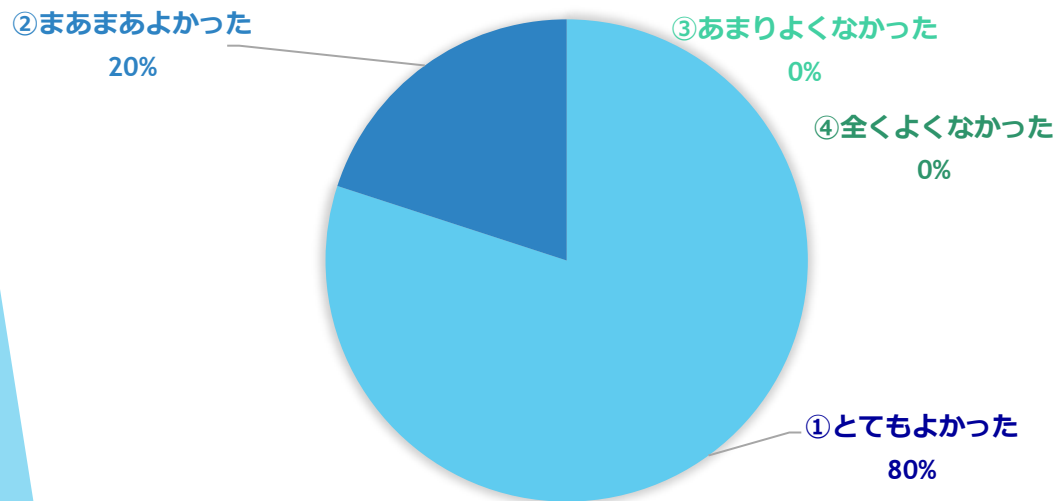


研修（部屋で受けた座学）を受けてどうでしたか。



夏期研修合宿 指導者アンケート結果 一部抜粋

実技講習はどうでしたか。

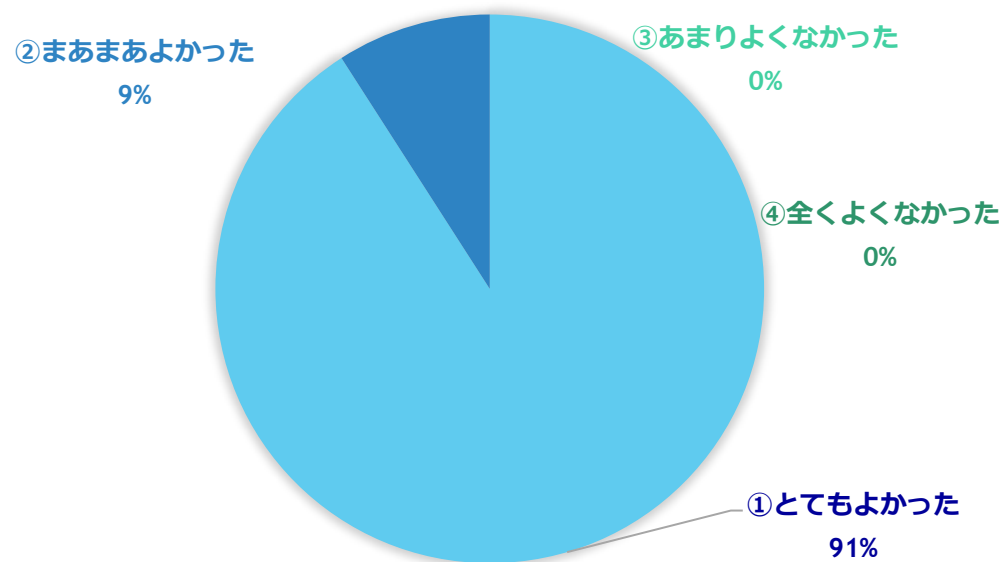


☆とてもよかった、まあまあよかったと答えた指導者に聞きます。とくにどんな内容がよかったですか？

- ・初心者でも無理なく参加ができた点。
- ・基本練習ができ大変良かった。
- ・天候も良く、朝夕暑くならない気候。場所も合宿所であり集中してできました。
- ・ボールの投げ方などの基本的な技術指導の仕方がわかった。
- ・シチュエーションごとの守備練習のやり方が理解できた。
- ・基本動作の指導の仕方がわかった。
- ・ケースノックができた。
- ・ケースノック時に、外野・内野の一人ひとりに動きを指導していただいたこと。
- ・ポジションに分かれての指導が効果的だった。
- ・ケース練習は日頃少ない人数ではできないので、大変いい機会だった。
- ・初心者の選手でも、わかりやすく指導してもらった。（キャッチボール、ゴロ捕球）
- ・普段できないような練習（走者ありのケースノック）をさせてもらったのでありがたかった。
- ・おろそかになっていた基本の確認ができた。

夏期研修合宿 指導者アンケート結果 一部抜粋

研修（部屋で受けた座学）を受けてどうでしたか。



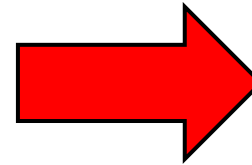
☆とてもよかった、まあまあよかったと答えた指導者に聞きます。特にどんな内容がよかったですか？

- ・この時期にチーム目標の仮設を立て、チーム全員で話し合うことができた。
- ・これからの練習に役立つものばかりだった。
- ・基礎を理解できた。
- ・個人の目標が持てたと思う。
- ・初めてボールをさわる選手に指導方法として自分に身についた。
- ・実戦練習前の動きの確認ができた。
- ・部活動（スポーツ携わる人間として）の意義（フェアプレー精神）を学べた。
- ・その研修後に内容を活かしたケースノックがあったのでわかりやすかった。
- ・課題分析→目標設定ができた。
- ・体づくり（トレーニング・食育）の仕方がわかった。
- ・基本的なソフトボールの動きについて理解が深まった。
- ・心構え、研修と実技の連動、チームの目標づくり等、勉強になった。

中学校3年生練習サポート

【課題から】

- ・ 自チーム引退後の練習機会を設けたい
- ・ 県内の中学生と高校生の連携を図りたい
- ・ 県内の中学生と高校生の交流を図りたい



中学3年生練習 サポート

【効果】

- ・ 競技力向上、強化につながる
- ・ 入学後すぐ即戦力として動ける可能性がある
- ・ 県内の高校の魅力を伝える場ができる（アピール）
- ・ 高校入学後のケガ防止につながる
- ・ 中学生の進路選択の材料になる

【関連】

- ・ 強化練習会
など

未就学児 ソフトボール体験会

2018/12/13 大分市 住吉保育園にて



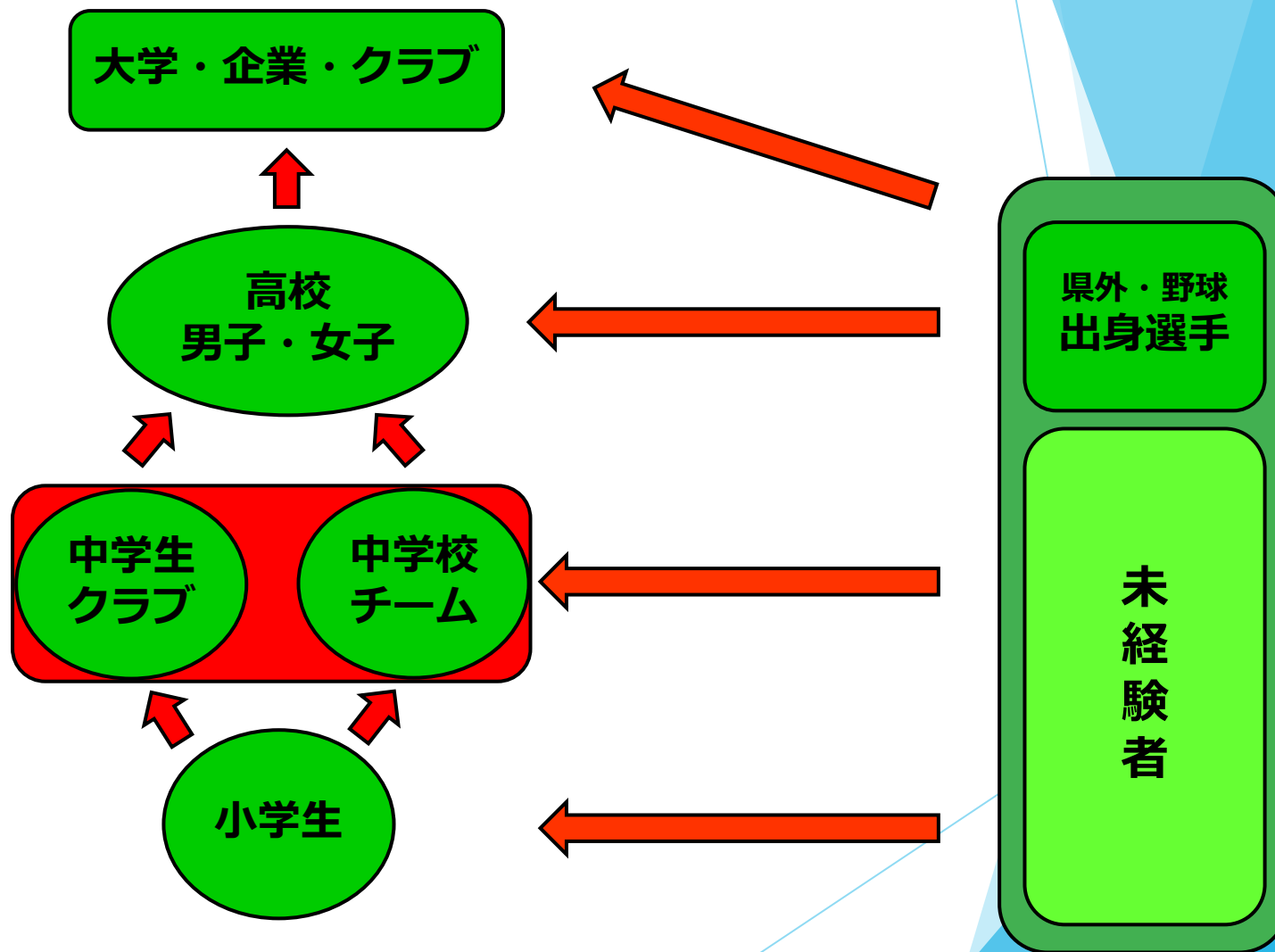
いままでの 体系図

バックアップ（サポート）がなく、それぞれのチームで...



チームが減っていった
選手が減っていった

中学校は廃部になったら、再度できる可能性は低い
（働き方改革／時代に逆行）



プロジェクト 体系図

大学・企業
クラブと連携

未就学児・小・中学生への魅力発信

選抜練習会サポート

小学生・中学生・高校生と連携

中3生
サポート

小中
研修合宿

ジュニア
練習会

小中学生
サポート

種まき（短期）

大学・企業・クラブ

高校
男子・女子

中学生
クラブ

中学校
チーム

小学生

県外・野球
出身選手

種まき事業以外の未経験者

種まき
（長期）

未就学児体験活動

小学校、特別支援学校
教員授業研究会

種まき
（中期）

私たちは、ソフトボールを愛する仲間たち

この状況を見過ごしますか

**10年後、グラウンドでソフトボールをする
たくさん子どもたちがいるように**

**そしてこれからの
大分県のソフトボールのために**